

正誤表

『実例でわかるデジタルイメージング』（第2版第1刷）に以下のような誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

目次

(誤) 適正画像とは……………116
(正) 適正な画像とは……………116

p.15 「3 サンプリングから符号化」本文2行目

(誤) 赤い枠は5ごとの
(正) 赤い文字は5分ごとの

p.21 「5 内接、概説」本文1行目

(誤) 出力画像の縦横比が
(正) 出力画像の縦横比が

p.24 リード文2～3行目

(誤) デジカメやモニタコンシューマ向けインクジェットプリンタなどが
(正) デジカメやモニタ、コンシューマ向けインクジェットプリンタなどが

p.33 「3 ランレングス圧縮」本文6行目

(誤) 図表2 画像Aのように
(正) 図表3 画像Aのように

p.33 「3 ランレングス圧縮」本文12行目

(誤) 図表2、画像B
(正) 図表3 画像B

p.33 右段

(誤) 図表2 各種画像データのRLE圧縮
(正) 図表3 各種画像データのRLE圧縮

p.35 「3 ハフマン符号化の手順」本文2行目

(誤) 他方に1にあてがうようにする。
(正) 他方に1をあてがうようにする。

p.36 右段本文9行目

(誤) これを少数の2進法表示を
(正) これを小数の2進法表示を

p.42 「4 JPEG2000」本文2行目

(誤) DCTの変わりに
(正) DCTの代わりに

p.47 「4 色の表し方」本文2行目

(誤) 図表6に肌色を各種表記方法で
(正) 図表8に肌色を各種表記方法で

p.61 頭注「広いgamutのdisplay」3行目

(誤) LEDをバックライトを用いている。
(正) LEDをバックライトに用いている。

p.62 「1 CMYKデータとは」本文11行目

(誤) 墨インクが用いられる。
(正) 墨インキが用いられる。

p.68 リード文1行目

(誤) グラフックスとは、
(正) グラフィックとは、

p.68 リード文4行目

(誤) グラフックスの各要素
(正) グラフィックの各要素

p.82 「2 PNG形式とは」本文1行目

(誤) Portable Network Graphic の略
(正) Portable Network Graphics の略

p.85 「デジタルのAha!」最終行

(誤) 大きな差となるのである。
(正) 大きな差となるのである。

p.98 リード文4行目

(誤) 画像理用
(正) 画像処理用

p.103 「2) SDメモ리카ード」本文6行目

(誤) 音楽プレーヤーや
(正) 音楽プレーヤーや

p.103 「デジタルのAha!」10行目

(誤) エネルギーが
(正) エネルギーが

p.107 「4 ハイエンド機とコンシューマ機との違い」本文12～14行目

(誤) 後行程での仕事となる。(中略) 選ぶのではなく、
(正) 後工程での仕事となる。(中略) 選ぶのではなく、

p.110 リード文6行目

(誤) 文字検索含をめた
(正) 文字検索を含めた

p.116 「画像のキータイプを把握する」本文2行目

(誤) 当てなければならぬ
(正) 当てなければならぬ

p.119 図表5 キャプション

(誤) 設定スポイトツールをでクリックする
(正) 設定スポイトツールでクリックする

p.120 「1 画像で大切なのは階調(トーン)」本文9行目

(誤) 適性な画像となる。
(正) 適正な画像となる。

p.125 「デジタルのAha!」6行目

(誤) 網点を発生させることが
(正) 網点を発生させることが

p.126 「2 ぼかし&シャープ化(鮮鋭化)フィルタ」本文5行目

(誤) フィルタを実行す場合、
(正) フィルタを実行する場合、

p.133 図表5 キャプション最終行

(誤) 高くすることで回避できる
(正) 高くすることで回避できる

p.136 「図表2 VRAM容量」

(誤) 786,432 画素 x24bit=2.25MB
(正) 786,432 画素 x24bit=2.25MB

p.141 「図表7 階調数の少ない出力機で中間調を表現する方法」

(誤) その結果出た誤差を近隣の画素に言っ
ての割合で割り振る。
(正) その結果出た誤差を近隣の画素に一定
の割合で割り振る。

p.149 「8 PostScriptのメリット」本文6行目

(誤) クライアントPCが早く開放され
(正) クライアントPCが早く解放され

p.150 リード文4行目

(誤) レーザー光の変わりに
(正) レーザー光の代わりに

p.150 図表2 タイトル

(誤) 図表2 ポリゴンミラーによる照射概要
(正) 図表2 ポリゴンミラーによる照射概要

p.161 頭注「デジカメのRGB」4行目

(誤) プロ用とに使えるよう
(正) プロ用途に使えるよう

p.161 「3 ディスプレイデバイスの色特性」本文4行目

(誤) 大幅に鮮やかな色域まで
(正) 大幅に鮮やかな色域まで

p.165 「デジタルのAha!」6行目

(誤) プロファイル作成のための測色する場合、
(正) プロファイル作成のために測色する場合、

p.169 「5 その他に配慮すべき条件」本文5行目

(誤) ③ディスプレイの直接照明光が当たらないように
(正) ③ディスプレイに直接照明光が当たらないように

p.171～172 索引

[あ行]
(誤) ICCプロファイル……………124、166
(正) ICCプロファイル……………114、166

[か行]
(誤) グレーバランス……………61、117
(正) グレーバランス……………64、117

[さ行]
(誤) サーマル方式……………140、142、152
三原色……………23
三属性……………122
サンプリング……………11

レチナル→[ら行]に移行
(正) サーマル方式……………140、152
3原色……………24
3属性……………122
サンプリング……………10、14

[な行]
(誤) 偽色……………96
(正) 偽色……………99、101、104

[は行]
(誤) ピエゾ方式……………140、142、152
非可逆符号化方式……………32、38
ヒストグラム……………53、116、118
標本化……………11

(正) ピエゾ方式……………140、144、152
非可逆符号化方式……………32
ヒストグラム……………116、120
標本化……………10

[数字・欧文]
(誤) adobeRGB……………61、66、115
dot……………19、20、142、157
JPEG2000……………44
PNG……………43

TIFF……………43、78
(正) Adobe RGB……………61、63、115
dot……………19、140、142、157
JPEG2000……………42
PNG……………41、82
TIFF……………33、40、78

p.173 「協力」写真提供

(誤) 高原直哉氏
(正) 榎原直哉氏

(誤) 高原直哉氏
(正) 榎原直哉氏

(誤) 高原直哉氏
(正) 榎原直哉氏

(誤) 高原直哉氏
(正) 榎原直哉氏

(誤) 高原直哉氏
(正) 榎原直哉氏